

令和 6 年度 県立大子特別支援学校 自己評価表

No. 1

目指す学校像	「持続可能で 選ばれる 地域共生型学校」 ・持続可能・・・安心で安全な教育環境を保持し、社会環境の変化に応じた教育実践を提供し続ける学校 ・選ばれる・・・地域の特別支援教育の中核として、質が高く魅力のある教育環境を提供し続ける学校 ・地域共生・・・コミュニティスクール制度を生かし、地域づくりと学校づくりの一体的推進に取り組む学校					
昨年度の成果と課題		重 点 項 目	重 点 目 標			達成状況
1 「学びがい」の推進 (1) 成果 ・個別最適な学びのための効果的な ICT 活用 (2) 課題 ・学校研究による教科指導の事業実践力の向上 2 「働きがい」の推進 (1) 成果 ・地域人財との交流や協働体制の確立と拡充 (2) 課題 ・自立と社会参加に資するキャリアパスポート活用 3 「頼りがい」の推進 (1) 成果 ・積極的な情報発信と校内外の教育相談の充実 (2) 課題 ・実地的な防災対応能力向上のための防災学習改善 4 「生きがい」の推進 (1) 成果 ・外部人財の活用によるスポーツ文化的体験の充実 (2) 課題 ・授業や各種行事への保護者・サポーターの協力推進		1 「学びがい」の推進	① 指導の個別化と学習の個性化による個別最適な学びの実現 ② 体験が関連づいた教科等横断的な学びやすいカリキュラム実現 ③ 障害特性の考慮と知見や根拠に基づいた、わかりやすい授業実践			A
		2 「働きがい」の推進	① 地域貢献や共同参画を意図した学習活動による心の教育の充実 ② 自立した生活者として必要な自己管理能力や規範意識の向上 ③ 社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力や態度の育成			B
		3 「頼りがい」の推進	① 健康・安全に関する能力及び実践態度を育成する教育の充実 ② 学校危機に対応する学校環境の整備と、防災安全教育の充実 ③ 地域における特別支援教育のセンター的機能の発揮			A
		4 「生きがい」の推進	① 健康で豊かな生活をおくるための生涯スポーツの享受 ② 生活の質の向上と余暇の充実につながる文化芸術活動の充実 ③ 新しい発想で主体的な PTA 活動の推進による共育風土の醸成			A
評価項目	具体的目標	具 体 的 方 策		重点目標との関連	評価	成果(○)、課題(●)及び次年度(学期)への改善策(◇)
学校経営 管理 教育計画	・子どもと教職員の生命・健康の保持 ・保護者や地域からの信頼確保の継続	・保健安全、防災安全、保護者対応、コンプライアンス等、学校危機に係る事案発生ゼロを校長が宣言し、全職員が自己評価表で自分の目標として反映する。 ・リスク・クライシスマネジメント（各種マニュアルの適宜改変、施設の安全点検と改修、避難・防災訓練、安全教育、職員のコンプライアンス研修、ヒヤリハット事例の積み上げ）を徹底する。		1―② 2―②・③ 3―①・② 4―①	B	A ○学校危機に係る事案発生なし ○コンプライアンスを自分事として捉える職員の意識向上、目標遂行 ○近隣学校との合同による共助に基づく防災学習の実施 ●地域関係機関との連携を強化した防災教育を実施 ◇地域防災をテーマとし

						た学校運営協議会での熟議による取り組み
教職員の育成及び指導・監督	・体験と教科学習が効果的に関連づいた学びやすく特色ある教育課程の創出 ・わかりやすい授業構想力と実践力の向上を目指した校内研修体制の充実	・教育課程検討委員会を主体に、体験と教科学習が効果的に関連づける学習計画と、実践成果等に係る形成的評価をとおして、教育課程の改善を図る。 ・単元配列表の作成・運用をとおして教職員の授業構想力を高め、計画訪問等の機会に授業実践力の向上に資する指導助言を要請し、専門性向上を図る。	1－①・③ 2－① 3－③ 4－①・②	B	A	○体験と教科学習が効果的に関連付くよう、実践成果と評価に基づき、合わせた指導の内容を見直し、各教科への振り分けによる教育課程の改善 ●部、及び学習指導課による、振り分けた教科の目標、内容の見直し、精選 ◇授業改善に向け、教員の発問力の向上に向けた校内研究テーマの設定と研修の充実 ○単元計画表を作成、活用した授業実践及び計画訪問における助言指導により、授業構想力及び授業実践力が向上 ●各学年における単元目標の設定 ◇学習指導要領に基づく年間指導計画、学年目標の策定
対外活動	・学校運営協議会での熟議をとおした地域連携につながる提案の実現 ・地域・学校双方がWinwinとなる協働実績の拡充と積み上げ ・常陸大宮市の中学校区を単位とした特別支援教育の向上の為に学校間連携	・学校運営協議会において、学校側から課題や要望等を提案し、課題解決に資する具体的方策に焦点化した熟議ができるよう作業部会が主となり運営する。 ・熟議で具現化された提案内容を、チャレンジ2024との関連を鑑みて実施・評価・改善するとともに、教職員間で共有することで教育課程の特色化を図る。 ・常陸大宮市での特別支援教育推進体制構築事業に参画し、地域の学校における特別支援教育コーディネーターの資質向上に資する連携体制を構築する。	1－①・② ③ 2－①・③ 3－①・③ 4－③	B	A	○作業部会を中心に、各部の要望等を具体化して学校運営協議会に提案 ○小学校等の交流、地域と連携した体験活動を5回実施し、地域社会との相互の学びを拡充 ●コアとなる体験活動の精選、地域との連携体制の維持 ◇各部による単元配列の計画的な見直しと教務部による知己との情報共有 ○本校コーディネーターが研修会を提案するとともに、地域の学校に積

						極的に情報発信を行い、 合同研修会を実施 ●区内の学校の主体的な 研修会実施や情報共有 体制の確立 ◇推進体制充実事業の活 性化や地域人財と各学 校間の問題共有
--	--	--	--	--	--	---

※評価基準： A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない